

電力小売市場における競争促進策（新市場創設、取引所取引など） に関する評価・問題意識

2019年4月11日



1. 取引所取引に関する評価・問題意識

「電力・ガス取引監視等委員会の権限強化」

2. 新市場創設に関する評価・問題意識

「需要家にとっての適正価格」で電気を供給する、という視点での制度設計

「類似市場を統一する」

F-Power SPIRIT

F-Power スピリット

私たちF-Powerは
エネルギーの常識に決してとらわれることなく
業界の“再定義”を行います。

エネルギーの適正価格とは
エネルギーに求められる形とは
エネルギーが進むべき未来とは

供給側から需要側に発想を転換し、
過去から未来を、そして未来から今を見抜く力で、
エネルギーによって生み出される
あらゆる“価値”を創造していきます。

「誠実」と、「情熱」と、「挑戦」で、
21世紀の業界のあるべき姿を示し
社会に貢献し続ける企業を目指します



F-Power

本社	東京都港区芝浦三丁目1番21号 田町ステーションタワーS20階
事業内容	電力の売買業務及び売買の仲介業務 発電及び電力の供給業務、蒸気、温水、その他 熱エネルギーの供給業務並びに送配電業務等
代表者	代表取締役会長兼社長 埼玉浩史
設立	2009年4月1日
資本金	5,289百万円 (2018年6月30日時点)
従業員数	146名 (2018年6月30日時点)
支社	西日本営業所 (大阪市) 北海道営業所 (札幌市) 中部営業所 (名古屋市) 九州営業所 (福岡市)
子会社	株式会社新潟ニューエナジー 株式会社G-Power 株式会社新中袖発電所 株式会社ファーストコンタクトサービス

1. 取引所取引に関する評価・問題意識

U 「適正な電力取引についての指針」における卸電力市場に関する事項

論点	課題	お願いしたいこと
<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい行為 ・問題となる行為 	現状の取引実態・取引状況等に即した内容に更新されていない。	現状の取引実態・取引状況に即した「望ましい行為」「問題となる行為」をご検討頂きたい。更新の際は、より具体的な行為の事例・取引の事例を掲載頂きたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・監視 ・情報公開 ・罰則 	具体的に踏み込んだ内容になっていない。 <ul style="list-style-type: none"> ・問題となる行為に対する罰則 ・監視対象、監視手法、監視の主体組織 ・公開すべき情報、公開手法 (現状は情報非対称性が存在すると認識) 	<p>電力・ガス取引監視等委員会の権限強化をご検討頂きたい。</p> <p>【短期的要望】 モニタリングされているチェックポイントを具体的に開示頂きたい。加えて、公開情報の充実に向けた取り組みをお願いしたい。例えば停止情報だけでなく、コマ毎のkWhベースの発電所稼働状況の公開、需給調整に関する情報(第32回制度設計専門会合資料7でご紹介頂いている情報等)を速やかに公表頂く等、ご検討頂きたい。</p> <p>【長期的要望】 具体的に規定した法令を整備頂きたい。法令策定プロセスにおいては、金融取引の市場政策策定・運営経験者および監視経験者等の意見を取り入れて頂きたい。</p>

< 昨今起こっている事例 > 別添1 関西エリアの価格高騰（燃料制約の影響）、別添2 北海道エリアの独歩高（ブロック入札等の影響）、別添3 東京エリア 2019/04/01～04/10の価格高騰（原因・背景に関する情報開示なし）

市場価格高騰（スパイク）が発生した際、その原因が何なのか、翌日もしくは2～3日後に価格が下落するのか or 1ヶ月以上高値水準が続くのか 等、推察できる情報をタイムリーに発信頂かないと、対処方法のジャッジが難しい。厳しい経営環境から脱することができない。

北海道エリア価格の独歩高が収まらないことから、F-Powerは北海道エリアから撤退することを決定。

2. 新市場創設に関する評価・問題意識

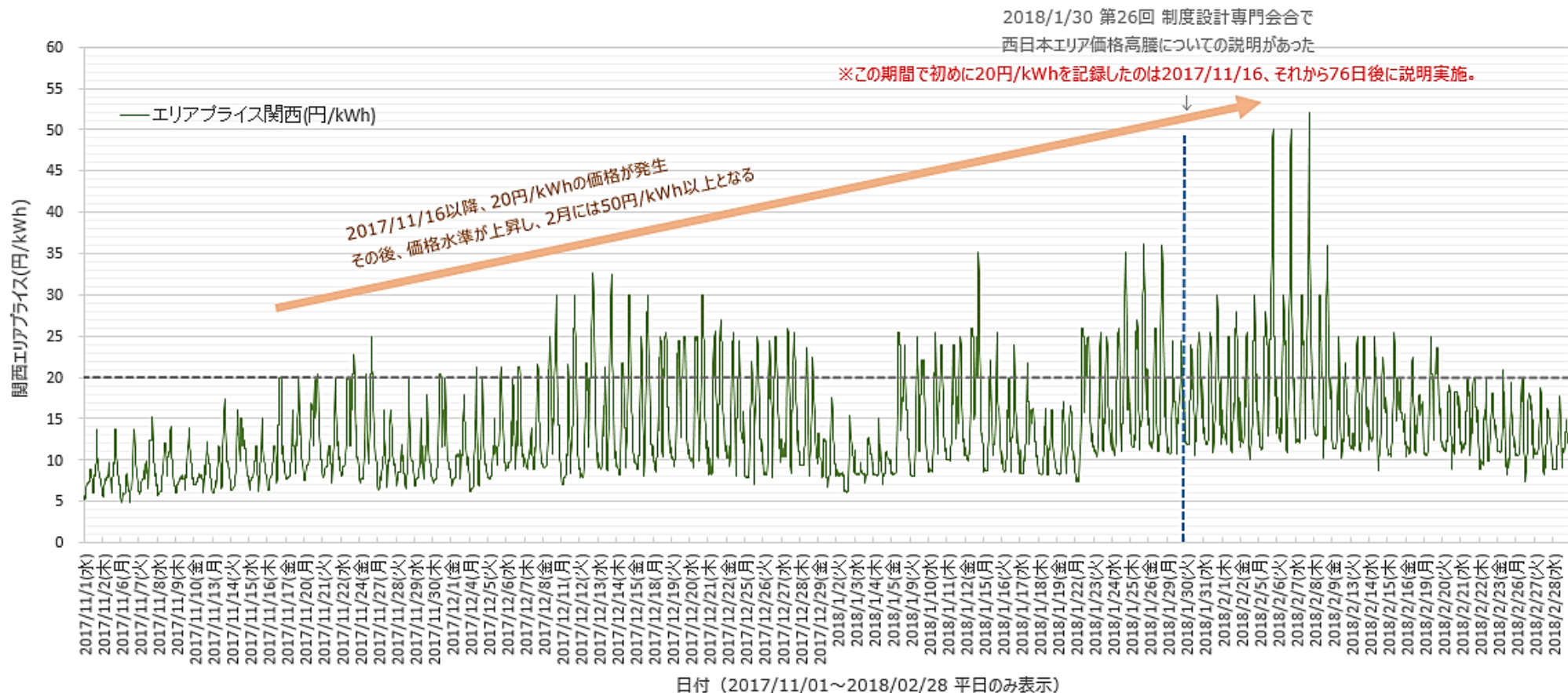
ウ 「電力・ガス基本政策小委員会 制度検討作業部会における論点」に関する事項

論点	課題	お願いしたいこと
容量市場	<p>小売電気事業者の負担が増加、最終的には需要家の負担が増加する方向で議論が進められている。</p> <p>広域機関主導（調整力及び需給バランス評価等に関する委員会等）で、需給検証・必要供給力の議論を進められているが、北海道地震・ブラックアウトを機に、供給力を増加させる論調が強く反映される傾向がある。代償として、国民負担が増加する懸念あり。</p>	<p>今まで以上に経済性を意識したご議論をお願いしたい。（具体的には予備力を上積みする議論を再考頂きたい。）</p> <p>最終的に「需要家にとっての適正価格」で電気を供給する、という視点での制度設計をお願いしたい。</p>
ベースロード市場	<p>ベースロード市場と先渡市場年間商品との違いが明確になっていない。</p>	<p>2018年7月13日 電力・ガス基本政策小委員会制度検討作業部会中間とりまとめに、ベースロード市場・先渡市場・常時BUの違いに関する記述があるが、市場参加者にとってはメリット・デメリットの比較衡量が難しく、それぞれの市場（および制度）をどのように活用していけば良いのかの検討が進まない。</p> <p>ベース需要を賄うため、できるだけ低い水準で価格を固定化したい、というニーズを満たすための手段として「類似市場を統一する」ことも可能性の一つとして、ご議論頂きたい。</p> <p>例）既に開設されている先渡市場を活性化させ、ベースロード市場の機能を包含する 等</p>

先物市場を含めた各市場の発展のため、まずはスポット市場に関する情報の透明性が確保され、適正価格が示される環境が不可欠

別添1: 関西エリアプライス 高騰の事例 (2017/11/01~2018/02/28) F-Power

2017/11/01~2018/02/28 JEPX Spot約定価格 関西エリアプライス 高騰の様子 (平日のみ表示)



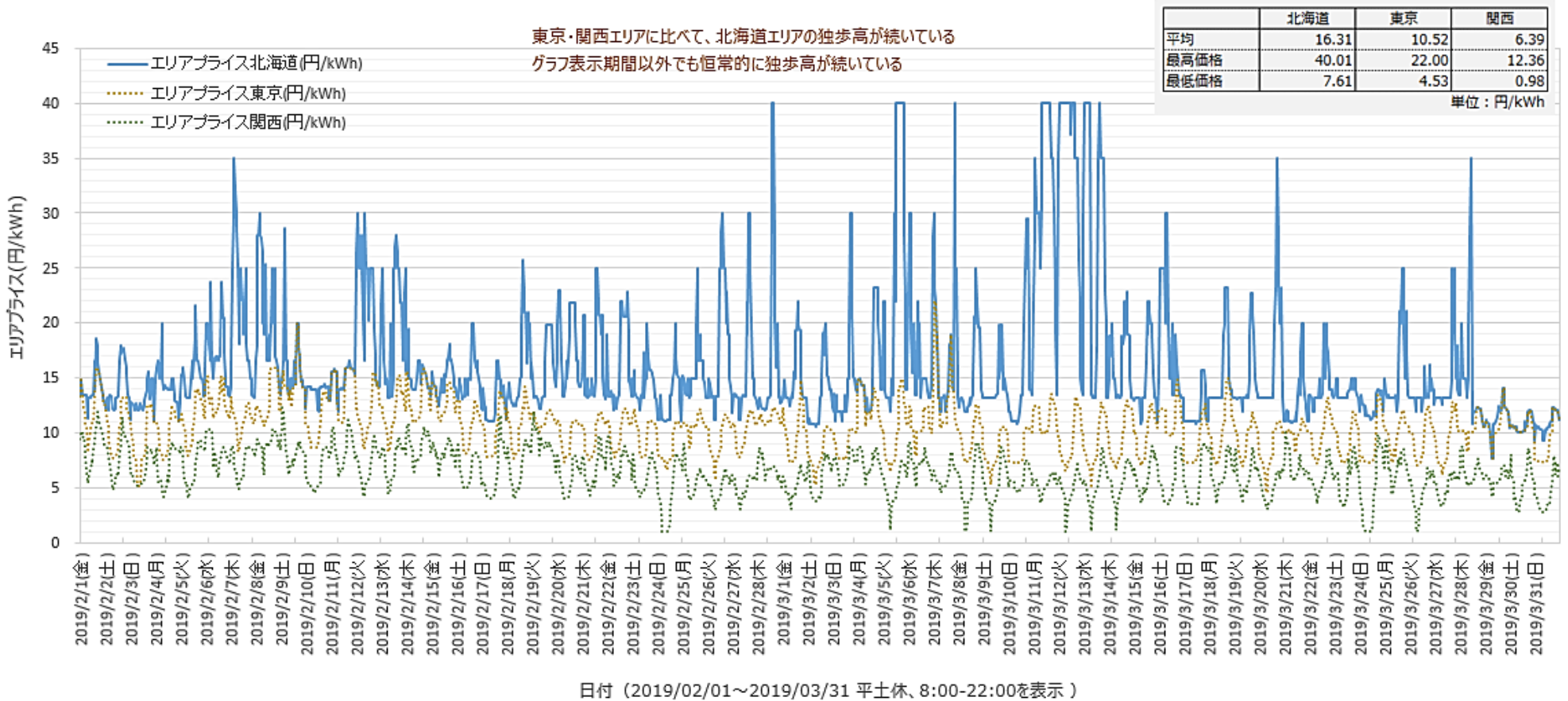
一般社団法人 日本卸電力取引所 ホームページ

<http://www.jepx.org/market/index.html>

より取得したスポット市場取引結果を元にF-Powerにてグラフ作成・コメント追記

別添2: 北海道エリアプライス 独歩高の事例

2019/02/01~2019/03/31 JEPX Spot約定価格 北海道エリアプライス 独歩高の様子 (平土休、8:00-22:00を表示)



一般社団法人 日本卸電力取引所 ホームページ

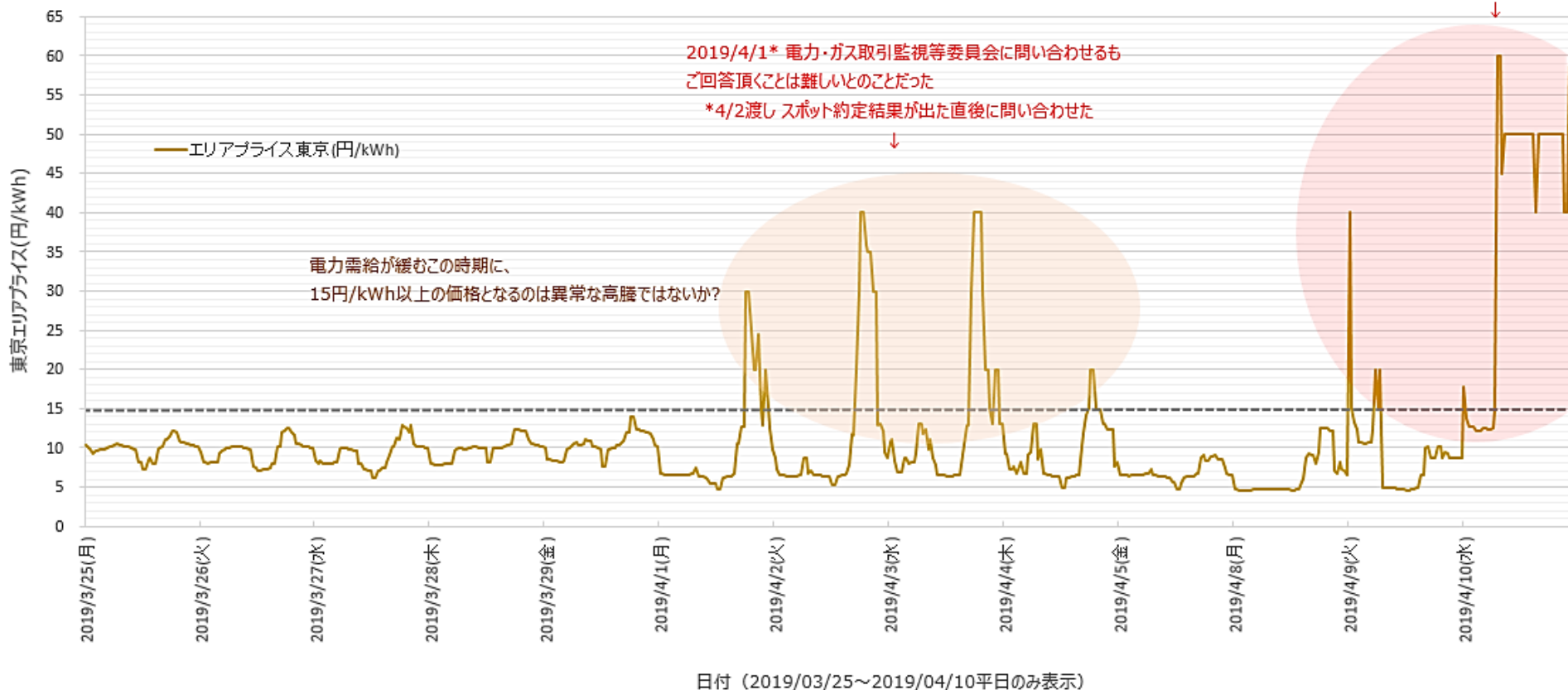
<http://www.jepx.org/market/index.html>

より取得したスポット市場取引結果を元にF-Powerにてグラフ・表を作成・コメント追記

別添3: 東京エリアプライス 高騰の事例

2019/03/25~2019/04/10 JEPX Spot約定価格 東京エリアプライス 高騰の様子 (平日のみ表示)

2019/4/10渡し スポット取引においては
最高 60円/kWhを記録



一般社団法人 日本卸電力取引所 ホームページ
<http://www.jepx.org/market/index.html>
より取得したスポット市場取引結果を元にF-Powerにてグラフ作成・コメント追記

論点	課題・お願いしたいこと
安定供給の観点・経済性の観点のバランス	<p>エネ庁・監視等委員会・広域機関、それぞれの役割を全う頂くと同時に、相互に影響し合いつつ、場合によっては牽制し合いながら、安定供給の観点・経済性の観点、バランスの取れた政策運営をお願いしたい。市場取引に関しては、これまで以上に公正取引委員会にも関与頂ける様なルール・体制をご検討頂きたい。</p>
民間主導で取り組むチャレンジ (民間自主団体の設立等)	<p>当社としては以下のような民間主導のチャレンジが必要と考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・官の仕事と民の仕事の区別を意識した取り組み 例) 官は制度と法律の整備 民は自主ルール (Code of conduct等) の整備 ・業界紙・Web媒体の活用 ・EEX等海外市場関係者の取り込み ・国内先物市場取引所、清算機能、監督行政との関係整理 ・会計制度 (発電・連系線設備の時価評価) との両立に関する研究
取引業者数の拡大	<p>金融商品取引業者より金融商品としての電力取引商品提案 (OTC取引) が増加傾向にある。当該事例は商品先物取引業者の更なる拡大余地に係る課題を含むと思料。金融商品取引業者数は、商品先物取引業者に比べ、その登録数が多いことから、今後の取引所における参加者増加や、流動性、機会収益確保を企図し、当該登録業者の参加、拡大に係るご検討をお願いしたい。</p>

